

第七十四回
帝國議會
貴族院

人事調停法案特別委員會議事速記録第五號

昭和十四年三月一日(水曜日)午後一時三十分分開會

○委員長(伯耆三荒考徳君) 只今ヨリ本委員會ヲ開催致シマス、前會ニ既ニ御質疑ガ盡キタト存ジテ居リマスルノデ、討論ニ入リタイト存ジマス、便宜上一案毎ニ討論ヲ致シマシテ、先ヅ人事調停法案ニ付討論ヲ開始致シマス

○岩田宙造君 本案ハ現在施行サレテ居リマスル借地借家調停法以下三ツノ調停法ト不可分ノ關係ノアルモノデアリマシテ、其ノ目的トシテ居リマスル所ハ、家庭ニ關スル紛争ヲ法律上ノ權利義務ノミニ拘ラズ、道義ニ基イテ圓滿ニ圓ク納メヨウト云フ趣旨デゴザイマスルノデ、其ノ趣旨ニ於キマシテハ固ヨリ結構ナコトデアリマシテ、毫モ異存ハナイノデアリマスルガ、其ノ目的ヲ達シマスル手段トシテ本案ニ規定シテゴザイマスル所ハ、他ノ既成ノ調停法ニ規定シテゴザイマスル手段ト同ジヤウニ、尙檢討ヲ要スル點ガアルヤウニ考ヘマスルノデアリマス、併シナガラ本案ハ政府當局ノ御説明ニモゴザイマシタ通りニ、時局柄早ク之ヲ施行スル必要モゴザイマスルノデ、只

今直チニ十分ナル之ニ改正ヲ加ヘルト云フコトハ、他ノ不可分ノ關係ノゴザイマスル調停法トノ關係ノ上カラ申シマシテモ、不可能ノコトト考ヘマスルノデ、本案ハ此ノ儘可決スルコトガ宜シカラウト考ヘルノデアリマス、併シナガラ只今申上ゲマシタヤウナ調停法ノ全體ヲ通ジマシテ、尙考究スベキ事項ガアリ、此ノ儘ニ置キマスルト云フト、是迄色々政府當局トノ質疑應答ニ於テモ現レテ居リマスヤウニ、種々ナル弊害ヲ生ズル虞モゴザイマスルノデ、私ハ是等ノ調停法ヲ通ジマシテ、政府ニ於カレマシテ速ニ十分ナ整理ヲサレマシテ、サウシテ弊害ノアルモノニ付テハ適當ナ改廢ヲ行フト云フ趣旨ノ決議ヲ付シテ本案ヲ可決シタイト云フ希望ヲ有ッテ居ル者デアリマス、仍テ其ノ希望ノ決議案ヲ讀ンデ見マスガ、ソレハ

希望決議案
政府ハ速カニ諸種ノ調停法ヲ整備シ弊害ヲ生スル虞アルモノニ付テハ適當ナル改廢ヲ行フヘシ
斯ウ云フ決議ヲ付ケマシテ本案ニ賛成致シタイト思フノデアリマスガ、ドウカ各位ノ

御賛成ヲ得タイト考ヘマス
○山岡萬之助君 私モ本案ノ成立ニハ贊成デアリマスガ、殊ニ此ノ時局ノ上ニ於キマシテ、人事ノ調停ヲ爲ス必要ナル事柄ガ眼前ニ生ジテ來テ居ルト云フコトニ付キマシテ、段々政府ノ御説明ヲ承リマシテ、速ニ本案ガ成立シ、運用ニ入ラムコトヲ望ム者デアリマス、唯併シナガラ調停ノ法律ハ段段財産關係ニ付テハ幾多制定セラレマシテ、此ノ度人事ニ關スル調停制度ニモ及ンデ参リマシタノデアリマスルカラ、法律關係ニ關シマスル諸般ノ事項ニ互ッテ、調停制度ガ立テラレタト云フコトニナリマシタノデアリマス、從ッテ此ノ制度ヲ今後活用シテ参リマスルニハ、相當一貫シタル原則ヲ考慮スル必要ガアル時期ニ達シタト思フノデアリマス、サウ云フ次第デ茲ニ二三ノ言葉ヲ申述ベテ、政府ノ注意ヲ喚起致シタイト思フノデアリマス、我ガ國ノ法律關係ハ西洋ノ法律ヲ模倣シタ點ガ多イノデアリマシテ、從ッテ個人主義的ナ權利思想ガ可ナリ深く入ッテ居リマスガ、今日迄訟廷ニ於テ訴訟ヲ爲ス時ニハ、法廷ヲ以テ法律上ノ争ヲ爲ス、斯ウ云ツタ考ヘ方ガ相當ニアツタノデアリマ

スガ、訴訟ノ關係ハ原被共ニ極メテ深刻ナル争ヲ爲シ來ツタノデアリマス、然ルニ我ガ國ノ淳風美俗カラ申シマスレバ、事ヲ決スルニ争ヲ以テスルヨリモ、和ヲ以テ貴シト爲ス、是ガ我ガ國ノ古來ノ道德デアアルノデアリマスカラ、從ッテ自然ノ間ニ必要ヲ生ジ、調停ノ制度ガ斯ク進シデ參ツタモノデアルト私ハ思フノデアリマス、サウ云フ意味デ此ノ度ノ調停法ノ成立ヲ希望スル次第デアリマス、而シテ又廣ク世ノ中ヲ見マスルト云フト、外國ニ於テモ全體主義ノ國家ニ於テハ、既ニ過去ノ個人主義的權利闘争ヲ止メマシテ、裁判官ヲ中心ニシテ、原被相共ニ訴訟ノ目的トナツテ居リマスル利益ヲ調節シテ、最モ良キ處ニ其ノ紛争ヲ解決スル、斯ウ云フコトガ訴訟ノ本來ノ目的デナケレバナナイ、斯様ナ考ヘ方ガ近時起ッテ参リマシテ、從ッテ立法上ニ於テ改革ヲサウ云フ面ニ進メツ、アル次第デアリマス、我ガ國ニ於テハ古來右述ベマシタル如ク淳風美俗ノ上ニ於テ、何處迄モ其ノ事柄ヲ協調シテ行クト云フノガ習俗デアリマス、デアリマスルカラ此ノ調停制度ヲ是非共今後一貫シタルモノニサレマシテ、サウシテ其ノ運用ノ

宜シキヲ制スルヤウニ致シテ戴キタイノデアリマス、即チ希望條件トシテ提出セラレマシタルヤウニ、此ノ制度ヲ整備シテ、最モ宜シキ處ニ規定ヲ立テラレムコトヲ望ムノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ之ヲ特別法トシテ參リマスルカ、或ハ民事訴訟ノ前提トシテ和解制度ヲ擴大強化シマスルカ、是等ニ付テモ色々ト説ノアルコトデアリマス、政府ニ於キマシテハソレ等總テノ關係ヲ考慮セラレマシテ、此ノ際健全ナル土臺ヲ樹立セラレムコトヲ望ムノデアリマス、更ニ又此ノ調停委員ノ事柄デアリマスルガ、調停委員ニ付キマシテハ、今日迄大體大シク弊害モ生ジナカッタコト云フコトデアリマシテ、何ヨリ幸ナコトデアルト思ヒマスルガ、是ガ愈、一貫シタル制度トナッテ進ミマスレバ、是等ニ關シマシテモ相當ナル方策ヲ立テテ置キマセスト云フト、調停ノ良キ面ヨリシテ遂ニ之ニ弊害ノ伴フ虞ナシトシナイノデアリマス、ソレ等ノ點モ特ニ一應附加ヘテ置キタイノデアリマス、一體制度ト云フモノハ、良イ制度デアルト云フテ折角立テマシテモ、ソレニ偏重致シマスト云フト、其ノ偏重シタダケガ其處ニ害ヲ生ジテ、弊害ニナルノデアリマス、調停制度ハ今日非常ニ良イ制度デアルト云フ

ノド立ッテ參リマシタガ、遂ニ歸スル處、金錢債務調停法ニ至ッテ甚ダ適當デナイ部分ナシトシナイノデアリマス、デアリマサルカラ最モ宜シキヲ制スルコトガ必要デアルト思ヒマス、若シ之ヲ濫用致シマシテ、調停ハ結構デアル、何デモ調停デヤルト、斯ウ云フコトニナリマスレバ、一體債務ハ支拂フベキ義務アリト考ヘ、又其ノ能力アルニモ拘ラズ調停ニ申出ラ致シマシテ、何分ナリトモ減額ヲスル、斯ウ云フ俗ナ言葉デ申セバ横著ヲスル者ガ出テ參ルノデアリマス、今日金錢債務調停法ニ於テ私ハサウ云フ風ナ弊害ヲ實地ニ見聞致シテ居ルノデアリマス、若シ斯ウ云フコトガ繰返サレマスルナラバ、遂ニハ責任感ト云フモノヲ消磨シテシマヒマス、責任感ヲ消磨致シマスルナラバ、司法制度ノ根柢ト云フモノガ破壊サレルバカリデハナイ、延イテハ社會ノ道義ト云フモノガ地ヲ拂フニ至ルノデアリマス、然ラバ淳風美俗ヨリ來テ、和ヲ以テ貴シト爲シ、調停ヲ以テ結構ナコトデアルト云フ本旨ト云フモノハ、其處ニ至ッテ遂ニ没却サレルコトニナルノデアリマスカラシテ、是非共此ノ責任感ヲ消耗スルコトノナイヤウニ、制度ヲ御立テニナリマスル場合ニ於テモ御考ヲ煩ハシタイシ、又之ヲ運

用スルニ當リマシテハ、一層ノ御注意ヲ望マザルヲ得ナイノデアリマス、殊ニ私ハ此ノ司法制度ノ本質ト云フモノハ、嚴正ナル法律ヲ運用シテ、正義ノ基礎ニ立ッテ、何處迄モ曲直ヲ正スト云フ所ニアルト思フノデアリマス、若シ曲直ヲ正スト云フコトノ本質ヲ失ヒマスルナラバ、是ハ司法ノ土臺ニ影響ヲ生ズルコトデアルト思フノデアリマス、即チ調停制度ガ弊害ヲ生ズル迄ニ之ヲ扱ッテ參リマスルナラバ、遂ニハ司法ノ根柢ト云フモノニ害ヲ生ズルコトナシトハシナイノデアリマス、ソレデアリマスカラ私ハ調停制度ヲ立派ニ樹立サレマシテ、サウシテ之ヲ十分ニ運用セラル、コトヲ望ミマスガ、併シナガラソレ宜シキヲ制シマシテ、司法制度ノ根幹デアアル精神ニ些ノ障害ヲ及シマセヌヤウニ致サレムコトヲ望ンデ已マナイモノデアリマス、右ヲ述ベマシテ本案ニ賛成ヲ致ス者デアリマス

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 只今岩田君ヨリ御提出ノ希望決議ニ對シテ、種々山岡議員カラモ本法案ニ對シテノ御意見ガアリ、竝ニ其ノ希望決議ニモ御賛意アリマシタノデ、此ノ希望決議ノ動議ハ成立ラ致シマシタ、此ノ際法案竝ニ希望決議ニ對スル賛否ノ御發言ヲ許シマス、別ニ御發言ガナケレバ直チニ採決ニ移リタイト存ジマス、人事調定法案ヲ可トスル方々ノ舉手ヲ御願ヒ致シマス

(總員舉手)

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 全會一致ト認メマス、是デ人事調定法案ハ可決致シマシタ、更ニ希望決議ノ御意見ヲ採決致シマス此ノ希望決議ヲ可決スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 御異議ナイモノト認メマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 家族間親族間ニ於ケル紛爭解決ニ付テ、司法制度ノ中ニ家事審判制度ヲ設クベキコトハ多年ノ要望デアリマシタ、併シ是ハ民法中ノ親族編相續編ノ改正ト相俟ッテ施行スル豫想ノ下ニ漸次後レテ居リマシタ處、今回ノ事變モ發生シ、時局ニ即應スル制度モ必要ト相成リマシタノデ本案ヲ提出致シマシタ處、委員各位ニハ每會極メテ御熱心ニ御討論相成リ、常ニ懇切ナル御質問竝ニ御注意ヲ以テ終始セラレマシタコトハ、眞ニ感謝スル次第デゴザイマス、只今ノ御希望決議トシテノ點ハ勿論、御注意ノ點ニ付キマシテハ十分ニ留意致シマスルノデアリマス、茲ニ改メテ

深く敬意ヲ表シマス

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記ヲ始メ

テ……

只今ヨリ非訟事件手續法中改正法律案ノ討論ニ移リタイト存ジマス

○岩田宙造君 本案ハ商法ノ改正竝ニ新タ

ニ制定サレマシタ有有限會社法ノ施行ニ伴フ、必要已ムヲ得ザル非訟事件手續法中ノ改正

デアリマシテ、私ハ之ニ賛成致ス者デゴザイマスルガ、此ノ中ニ極ク些細ノコトデゴ

ザイマスケレドモ、整理漏レト思ハレルヤウナ點ガ一二點ゴザイマスルノデ、其ノ點

ニ對シマシテ修正致シタイト考ヘルノデアリマス、其ノ一ツハ、第三百三十八條ノ十五

ノ中ニ、眞中邊リデアリマスルガ、「第三百三十五條ノ五十五乃至第三百三十五條ノ五十七、

第三百三十五條ノ五十八、」トアリマスルモノヲ、「第三百三十五條ノ五十五乃至第三百三十五

條ノ五十八、」ト改メタイトデアリマス、是ハ唯表示ノ方法ヲ普通ノ例ニ從ッテ變ヘタ

ダケデアリマシテ、其ノ内容ニ於テハ少シモ變ラナイノデゴザイマスルガ、體裁上他

ノ例ト違ヒマスルノデ、之ヲ普通ノ例ニ改メタイト思フノデゴザイマス、ソレカラ今

一ツハ、「第二百一條ノ二」ノ中ニ、原案ハ「第九十五條ノ二ヲ第九十五條ノ四ニ改メ」云々トナッテ居ルノデゴザイマスルガ、是ダケデハ準用ガ不足ノ部分ガゴザイマス、即チ株式合資會社ノ場合ノ社員ガ除名サレタ場合、或ハ代表權ヲ喪失シタ場合ニ關スル囑託ノ登記、又取締役ノ缺員ヲ生ジマシタ場合ニ、其ノ退任者ガアリマシタ場合ニ、其ノ退任者ガ尙取締役ノ權利義務ヲ行フ場合ニ關シマスル囑託ノ登記、竝ニ監査役ガ取締役缺員ノ際ニ、取締役ノ職務ヲ代行致シマスル場合ニ關スル登記ノ囑託、是等ノ場合ガ落チテ居リマスルノデ、之ヲ補足致シマスル爲ニ、左ノ通りニ本條ヲ改正致シタイトデゴザイマス、即チ「第二百一條ノ二」中「第三百九十五條ノ二」トアリマスルノヲ、「第三百八十五條ノ二、第三百八十八條ノ二、第三百八十八條ノ三及ビ第三百九十五條ノ四」ニ改メ同條ヲ第二百一條ノ三トス、斯ウ改メタイトデゴザイマス、ドウゾ御贊同ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 只今修正ノ御意見ガ出マシタガ、之ニ御贊成ノ方ハゴザイマスカ

○山岡萬之助君 贊成

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 然ラバ修正意

見ハ贊成者ガゴザイマシタノデ、動議トシテ成立ヲ致シマシタ、此ノ際政府委員ノ此

ノ修正ニ對スル御意見ヲ承リタイト存ジマス

○政府委員(大森洪太君) 只今ノ御修正デアリマスガ、極メテ適當ナル御修正ト存ズ

ルノデアリマス、即チ形式上又實質上私共ノ立案ニ付テ粗漏ノ點ガアッタノデアリマ

シテ、其ノ粗漏ヲ補正シテ完璧ヲ期スル御趣旨デアリマシテ、之ニ同意スルドコロデ

ハナイ、寧ロ私共カラ御願ヒシタイトデアリマシテ、實ニ御修正ヲ多トスルモノデア

リマス

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 此ノ際修正ヲ含ミマシタ贊否ノ御發言ヲ御許シ致シマス……別ニ御發言モナイヤウデアリマスカラ、採決ニ移リタイト存ジマス、岩田委員ノ御提出ニナリマシタ修正條項ヲ可トスル方ハ御舉手ヲ願ヒタイト存ジマス

(總員舉手)

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 全會一致ト認

メマス、其ノ他ノ條項ハ可トスルコトニ御異議ハゴザイマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 御異議ナイト認メマス

○國務大臣(鹽野季彦君) 非訟事件手續法中改正法律案ハ、手續規定ノ中殊ニゴタ／＼致シテ居リマシテ、誠ニ各位ニ御迷惑ヲ掛ケタヤウナ次第デアリマス、殊ニ司法當局ニ於キマシテモ、ナカ／＼整理ヲ致シマス

ノニ骨ノ折レタヤウナ次第デアリマス、特ニ粗漏ノ點モアリマシテ御修正ヲ下サイマシタコトハ、深く感謝スルヤウナ次第デア

リマス、一言御禮ヲ申上ゲマス

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 茲ニチヨット御諮リヲ致シタイト存ジマスノハ、此ノ修

正意見ニ伴フ字句ノ整理ガ必要デアルト存

ジマスガ、此ノ點ハ委員長ニ御任セラ願ッテ御異議ゴザイマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 御異議ナイモノト存ジマス、然ラバ是ニテ非訟事件手續

法中改正法律案ハ修正可決致シマシタ、是ニテ散會ヲ致シマス

午後二時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵二荒 芳徳君

副委員長 男爵渡邊 修二君

委員

侯爵中山 輔親君

子爵曾我 祐邦君

子爵加藤 泰通君

子爵米田 國臣君

建部 遯吾君

男爵前田 勇君

男爵山根 健男君

山岡萬之助君

藤沼 庄平君

岩田 宙造君

田中德兵衛君

大澤德太郎君

國務大臣

司法大臣兼遞信大臣 鹽野 季彥君

政府委員

司法省民事局長 大森 洪太君

貴族院人事調停法案特別委員會
議事速記録第四號正誤

一頁四段十行、十一行、十二行目ハ誤植ニ付左ノ如ク訂正ス

ハ即時抗告ガ出來ルト云フ規定、第百三十二條ノ五ノ第三項ト云フノハ執行停止ニ關スル規定、第百三十五條ノ十

昭和十四年三月二日印刷

昭和十四年三月三日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局